

# 負の連鎖を断ち切る ことはできるか — 児童虐待からの再生 —

児童虐待が増え続けている。児童相談所の相談件数は1990年当時1100件だった。2011年では5万5千件と50倍もの数字にはねあがった。心ない親の扱いの中で子どもが心身ともに傷ついていく。幼い頃の虐待は脳にも深刻なダメージを与える。被虐待児の社会復帰までの物語と、虐待のもとでの脳への影響、さらに、児童虐待からの再生力、回復力について3名の話者提供者が語る。これを踏まえて、子どもの再生の可能性について脳科学者の指定討論を皮切りに被虐待児の復帰や支援の在り方を探り、会場の皆様と討論する。

⌘ 話題提供1 内田 伸子

「子どもは変わる・大人も変わる—児童虐待からの再生—」

姉は6歳、弟は5歳までネグレクトされた姉と弟が救出された。身長も体重もせいぜい1歳レベル、ことばもなく歩行もできない。この二人の社会復帰まで心理学者が心をこめて15年間の補償教育に取り組んだ。二人の社会復帰までの物語を通して、虐待からの再生について考え、虐待された子どものケアの方途を探る。

⌘ 話題提供2 友田 明美 (福井大学)

「いやされない傷—児童虐待と傷ついていく脳—」

子どもの頃に受けた、身体の傷はいつか癒えたとしても、心に負った傷は目に見えないところで子どもの人生を蝕んでいく。虐待された子どもの脳がいかに傷つき、どのような発達障がいを引き起こすのかヒトの「こころ」の摩訶不思議な脳神経科学的な働きについて、米国ハーバード大学との共同研究に寄って明らかになってきたことを、虐待と脳発達との臨界(敏感)期との関係を明らかにする。

⌘ 話題提供3 仁平 義明

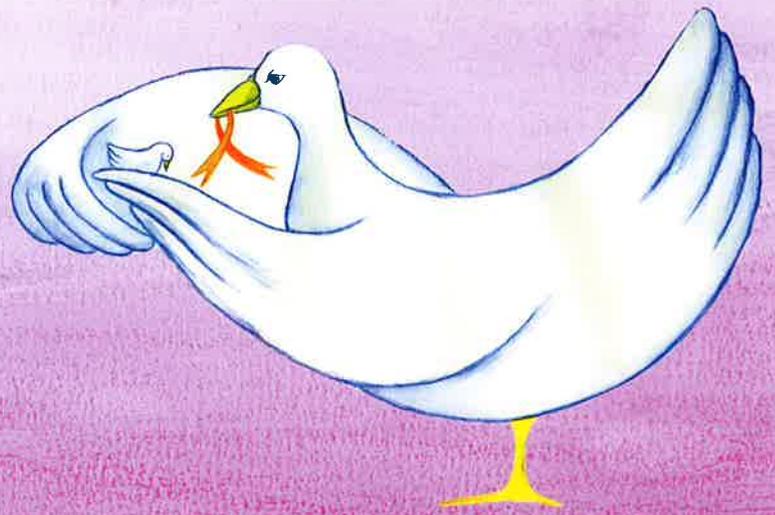
「子どもの虐待と心の回復(レジリエンス)の指標」

虐待のもとで生き延びた子どもが再生することがある。暴力、養育放棄、心理的暴力や性的虐待を受けても、その連鎖を断ち切り心豊かな大人に成長し、よき親になっていく場合がある。なぜ再生は可能なのか?子どもの自発的成長力や回復力の秘密を探る。

企画者 仁平 義明 (白鷗大学)

内田 伸子 (お茶の水女子大学)

司会 内田 伸子



指定討論 渡邊 正孝 (東京都医学総合研究所)

2012 6.24 SUN

14:00~17:00 先着400名[入場無料・一般公開]

■ 東京会場

伊藤国際学術研究センター地下2F 伊藤謝恩ホール

〒113-8656 東京都文京区本郷7 Tel:03-5841-0779

▼東京メトロ丸ノ内線本郷三丁目駅下車徒歩3分・都営地下鉄大江戸線下車徒歩6分

●案内図 <http://www.u-tokyo.ac.jp/ext01/iirc/access.html>



2012 11.18 SUN

14:00~17:00 先着300名[入場無料・一般公開]

■ 京都会場

同志社大学 今出川キャンパス 明德館 21番教室

〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601 Tel:075-251-3120

▼京都市営地下鉄烏丸線今出川駅1番、3番出口からすぐ

●案内図 [http://www.doshisha.ac.jp/access/ima\\_campus.html](http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_campus.html)

